タイ王室お手植え記念樹

一つ目の木(A)は1931年4月9日に高徳院に訪問されたのを機に、ラーマ7世が植樹された松です。

二つ目の木(B)は元々皇太子として訪日されたのちのラーマ６世が植樹された松です。従来の木は1902年12月27日に植樹されたが、惜しくも2009年9月に虫害に遭い、枯死に至りました。現在の松は2010年7月3日にラーマ9世の勅命を受け、当時のウィーラサック・フートラクーン駐日タイ王国特命全権大使が植樹された代替木です。

三つ目の木(C)は、1987年9月25日に来院されたのを機に当時のワシラーロンコーン皇太子（現在のラーマ10世）が植樹された松です。